

げんき広場

GENKI HIROBA

◎編集・発行 長崎県教育庁総務課 〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 TEL095-894-3314 (ダイヤルイン) 長崎県教育委員会 検索



令和4年3月27日(日)
長崎県立長崎図書館
郷土資料センターが
オープンします。

令和4年3月27日(日)に開館する「長崎県立長崎図書館郷土資料センター」について、県立長崎図書館の渡邊館長にききました。



長崎県立長崎図書館
渡邊 斉志館長

Q1 どこに開館するのですか？

長崎市立山、旧県立長崎図書館跡に整備されます。



Q2 どんな施設ですか？

長崎に関する郷土資料(地域資料)を収集、保存、提供する施設です。



Q3 郷土資料センターの魅力を教えてください。

魅力① ～郷土資料・地域資料が充実～

長崎県内で発行されたものや、長崎県に関する内容の出版物等を所蔵しています。長崎県出身の作家や、長崎を舞台にした小説・随想などの「長崎ゆかりの文学」関連資料、明治期以降の郷土の新聞などもあり、「ふるさと長崎」について学ぶことができます。また、文学・歴史・原爆などの分野と年代別(小学生・中学生・高校生・一般向け)に分けた「郷土学習セット」もあり、夏休みの研究などで活用いただくことができます。



魅力② ～ミライonサテライト～ ミライon図書館の資料の受け取りや返却等ができます。

郷土資料センターでは、全国でも有数の収蔵冊数を誇るミライon図書館(大村市)の資料の受取や返却ができます。また、最大15名収容可能な集会・研修室(最大3部屋に分けて使用可)は、ミライon図書館のイベントのサテライト会場としても使用します。

※資料の予約、貸出には利用カード(ミライon図書館と共通)が必要です。利用カード申請書に必要事項を記入し、氏名と住所を確認できるもの(マイナンバーカード、保険証等)をお持ちのうえ、閲覧室内のカウンターでお申し込みください。



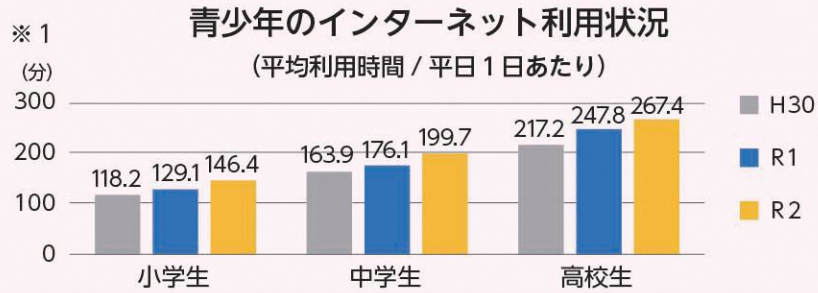
種類	貸出点数	貸出期間
本・雑誌	50冊まで	22日間
視聴覚資料	2点まで	

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://nagasaki-lmc.jp>



お問合せ：
長崎県立長崎図書館郷土課
TEL:095-826-5257

適切なネット・スマホ利用のために、 大人ができることは？



※1 令和2年度青少年のインターネット利用環境実態調査 (内閣府) より

コミュニケーションや学習での活用等、インターネットやスマートフォンは、安全に正しく使うことができればとても便利で役立つものです。子どものやることを一方的に否定するのではなく、これからの時代に必要な能力を安全に身に付けるためにも、子どもと一緒にルールを決め、上手に使いこなせるようにサポートしましょう！



① SNSをきっかけに おこる犯罪トラブル

- つらいことを SNS につぶやくと、優しい言葉でメッセージを返してくれる人が。つい信用して会いに行くと大変なことに・・・。
- 親身になって話を聞いてくれるネット上の友達。誰にも言えない秘密を打ち明けたが、写真を送ると、「秘密を拡散されたくなければ、裸の写真を送れ！」と脅迫するメールが送られてきた。

★ ネットだけでは、写真もメッセージも本物かどうか分かりません。簡単に信用して写真や秘密など個人情報を話さないことや、一度ネット上に流出した画像等を全て回収、削除することは難しいこと等を教え、SNSを使うならば親子でルールを話し合しましょう。また、つらいことや困ったことがあったら相談できる関係が保てるように、普段から子どもの言葉に耳を傾けましょう。

② SNSによる 友人・知人とのトラブル

- 仲良しグループのトーク画面で・・・
Aさん
「Bさんってさー、いつもおもしろくない」
Aさんは、メッセージの最後に「？」をつけ忘れたまま送信してしまい、気が付くとみんなから「ひどい!」「最低!」等のメッセージが次々に。
誤解を解こうとしても無視され、グループから仲間外しにされてしまった。



★ 直接会って話すときは、声のトーンや表情、話し方で伝わることも、文字で表現すると相手によって捉え方が違い、誤解を招くこともあります。メッセージを送るときには、記号やスタンプで気持ちが正しく伝わるように工夫し、送る前にしっかりと確認してやり取りをすることが大切です。保護者は、早期発見のためにも、

日々の様子や会話から子どもの変化・違和感がないか見守りましょう。



③ ネットやゲームの長時間利用・依存

- 長時間のスマホやゲームで、遅刻や学校を休むようになり、体調や成績に影響が出ているのに、ゲームやスマホをやめられない。



★ 睡眠は、子どもの心と体の成長にとってとても重要です。終わりの時刻を決める・利用する時間を決める等親子でルールを話し合い、どんなことに、どれくらい使っているのか保護者が利用状況を把握するよう心がけましょう。そして、子どもがスマホの利用を自分自身でコントロールできるようになるまで見守りましょう。



やはり大切なのはルールと対策です。そのために・・・

- 家庭のルールを作るときは、親子でしっかり意見を出し合い、ルールを決めましょう。

保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント

(内閣府・内閣官房・警察庁・消費者庁・総務省・文部科学省・法務省・厚生労働省・経済産業省)



- フィルタリングやペアレンタルコントロールで、スマホの利用時間やアプリの個別設定をしましょう。

スクリーンタイム
フィルタリング設定方法



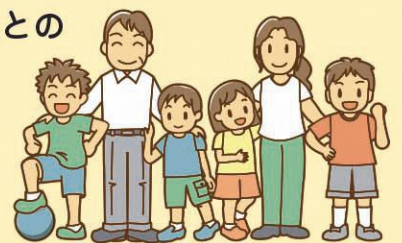
- 長崎県では、「ながさき基準」ネット・電子メディア利用（遊び時間）より9時までを推奨しています。



ネット・電子メディア利用
ながさき基準・夜9時まで
～よる9じからは、わたしじかん!～



- 子どもに様々な体験をさせ、人とのリアルなコミュニケーションの中で、マナーやモラル、思いやりの心などを育てましょう。



子どもとのコミュニケーションを大切にし、
子どもが少しずつ自分で判断し行動できるように見守っていきましょう。

お問い合わせ: こども未来課 TEL095-895-2684

保健・安全・学校給食 の充実のための取組

保健教育・安全教育の充実を図るため、また、安全安心な学校給食を提供するため、感染対策を講じながら工夫した取組を推進し、令和3年度長崎県学校保健・学校安全推進学校表彰、長崎県学校給食推進学校等表彰を受賞された各学校の取組を紹介します。

大村市立大村小学校

～学校独自の感染症マニュアルを作成～



様々な場面を想定した学校独自の感染症対応マニュアルを作成し、役割を明確にすることで的確に運用できるような工夫がされています。児童に配付されたタブレット端末を活用し、メンタルヘルスについてのアンケートを実施し、その結果を元に指導を行い、早めの対応につなげることができています。

学校保健

<優秀校>

吉崎市立三島小学校

～地域と連携した感染症対策～



新しい生活様式での歯磨きや手洗い等の感染症対策について、自ら学習したことを、デイサービスを利用する方に発表しています。地域での意識の高まりや感染対策への協力体制ができています。

長崎県立西彼杵高等学校

～生徒が主体的に計画・運営～

生活委員会の生徒が中心となり、薬物乱用防止教室の計画・運営をしています。クイズや劇等生徒参加型での実践を、平成29年度より継続して取組んでおり、活動の定着が見られます。



学校給食

<優秀賞>

佐世保市立 白南風小学校

～アレルギー事故防止対策を全校で共有～



食器の色の工夫



レシピ集の配布

アレルギー食対象児童の食器の色を変えたり、配膳を1番初めに行ったりするなど校内での決まりを徹底し、誰が指導に当たってもアレルギー事故が防止されるよう工夫をしています。家庭で実践できるレシピ集を配付するなど家庭や地域への啓発も意欲的に行っています。

大村市立大村小学校の感染症対応マニュアルや佐世保市立白南風小学校のレシピ集の詳細については、こちらからご覧になれます。



学校安全

<優秀校>

新上五島町立有川中学校

～防災マップを小中学校で共有～



総合的な学習の時間に、自分達が生活している地域を直接見て回り、危険箇所を確認し、防災マップを作成しています。防災マップを活用し、生徒が小学生に対して、地域の危険箇所を説明し、情報を共有することで、安全意識を高めています。

吉崎市立田河小学校

～専門家と連携した避難訓練～

「予告なし避難訓練」に取り組むことで、児童や職員の危機意識を高め、児童自らが判断し、安全に避難する危機対応力の向上につながっています。専門家（防災士、スクールサポーター等）と連携を図り、実践的な取組を行っています。



賞

- その他の受賞校
- 学校保健【優良校】 吉崎市立瀬戸小学校、西海市立平島小学校
【努力校】 吉崎市立那賀小学校、松浦市立福島中学校
- 学校給食【優良賞】 吉崎市立霞翠小学校

【長崎県学校保健・学校安全推進学校表彰】

心も身体も健やかな児童生徒を育成するため、学校・家庭・地域が一体となって、学校保健・学校安全の推進に努めている学校の表彰をしています。

【長崎県学校給食推進学校等表彰】

学校給食の普及とその充実を図るため、学校・家庭・地域社会が連携を図り、学校給食の推進に努めている学校及び共同調理場の表彰をしています。

スポーツや文化芸術活動に取り組む 特別支援学校の児童生徒たち



スポーツ Sports



【陸上競技】 希望が丘高等特別支援学校
白木 大悟 さん

8月開催の「第76回九州陸上競技選手権大会」男子100mでの記録（10秒82）が、日本知的障がい者陸上競技男子100mの日本新記録に認定されました。

本県では、「第二期長崎県特別支援教育推進基本計画」に基づき、障害のある児童生徒が生涯にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむ機会の充実を推進しています。今号では、スポーツや文化芸術活動に積極的に取り組んでいる特別支援学校の児童生徒の活躍をご紹介します。

【ボウリング競技】
川棚特別支援学校
執行 洸児 さん

7月開催の「国民体育大会第41回九州ブロック大会」で3位、8月開催の「第40回全九州ダブルスボウリング選手権大会」で優勝しました。



【ボッチャ競技】



「第5回木谷隆行杯 長崎県特別支援学校ボッチャ大会」が、11月13日に開催されました。肢体不自由特別支援学校4校（佐世保、長崎、諫早、諫早東）の中学部・高等部生徒たちによる、学校対抗戦が繰り広げられました。リオデジャネイロオリンピックの銀メダリスト・木谷隆行さんによる実演もありました。



【サッカー競技】 特別支援学校5校（ろう、佐世保、虹の原、希望が丘、島原）のサッカー部等によるサッカー交流戦「第7回きらめきカップ」が、12月19日に諫早市で開催されました。



県内の特別支援学校では、他にも様々なスポーツや文化芸術活動に取り組んでいます。たとえば、盲学校では、視覚障害のある人もない人も一緒にプレーできるように考案された球技「フロアバレーボール」に、部活動として取り組んでいます。詳しくはこちらからご覧ください。



問い合わせ：
県教育庁特別支援教育課
TEL095-894-3402

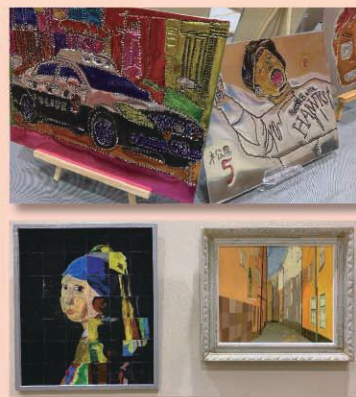
文化芸術活動 Culture art



●12月12日に平戸市で開催された、「第21回長崎県障害者芸術祭」では、虹の原特別支援学校・中倉啓輔さんがバイオリンの演奏を、佐世保特別支援学校北松分校の児童生徒がよさこいやダンスを披露しました。



●「第26回長崎県特別支援学校高等部生徒作品展（愛称：「ココロモノとアート」展）」が、12月18日（土）から2日間、大村市で開催されました。



決定!!

令和3年度「高校生が選ぶ友だちにすすめる本ベスト10」



県教育委員会では、長崎県高等学校文化連盟図書専門部と連携して、「高校生が選ぶ友だちにすすめる本」のアンケートを実施しました。ご協力いただいた高校生の皆様、先生方、ありがとうございました。

【選定テーマ】 勇気や元気をくれる本

	書名等	作者名	出版社名
第1位	君の隣臓をたべたい	住野よる	双葉社
第2位	聖域	コムドットやまと	KADOKAWA
第3位	桜のような僕の恋人	宇山佳佑	集英社



第4位から第10位までの結果は、県生涯学習課HPをチェック!



子ども同士はもちろん、大人と子どもで「おすすめの本」を紹介し合うのもいいかもしれませんね。ぜひ、各ご家庭で、読書に親しんでください。

長崎県子ども読書 検索

問い合わせ：
県教育庁生涯学習課
TEL095-894-3363



教育だよりながさき「げんき広場」のバックナンバーはこちら→



げんき広場の誌面に関するお問い合わせ
長崎県教育庁総務課企画広報班 TEL 095-894-3314